

堤防復旧工事の流れ



仮設矢板打ち込み

海水を堰き止めて作業場の確保



基礎コンクリート

堤防の土台作り



型枠

コンクリートを枠の中に流し込む



舗装（完成）

道路を舗装して完成



嵩上げコンクリート

嵩上げをして波を跳ね返す



法枠

法面表層部の保護
(浸食・風化等の防止)



なみえ焼きそば

また、他の担当では排水ポンプを復旧し、津波の被害を受けた農地から海水を排水させ、除塩作業を行うなど、営農再開の準備を支援しています。

復旧工事も徐々に進み、被災地の復興はこれからが本番となります。営農を再開させ美味しいブドウ、キュウリなどを出荷する農家が増加したり、B・1 グランプリで優勝したなみえ焼きそばのようなご当地グルメをPRするなど、震災前の活気を取り戻そうと様々な取り組みを行い、一日も早い復興を目指しています。

筆者が福島県で担当した業務は、福島県浜通り北部にある相馬市の松川浦海岸堤防復旧工事です。津波で壊れた堤防の再建を支援しました。松川浦の堤防は延長が約3.5kmあり、そのほとんどが津波により破壊されましたが、被災直後の平成23年度から復旧工事が開始されました。現在は堤防全体の約35%が完成し、早期の完全復旧を目指しています。



福島県産キュウリ



はらごめし(宮城県亘理町の郷土料理)



福島県産ブドウ

被災地は今！！



津波の被害を受けた建物
(福島県双葉郡浪江町中浜)



福島県相馬市松川浦
(H25.11.6)

被災地へ！！

農業土木技術職員の派遣

福島県沿岸部に位置する浜通り地域では、防波堤の背後に広大な農地があり、水稲、プロットコー、キュウリなどを栽培していました。しかし、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の津波により、防波堤の一部が決壊するとともに地盤が沈下したため、農地に海水が浸入し、甚大な被害がもたらされました。

震災からの復興に向けて様々な計画が立てられていますが、農業再生の取り組みは基盤整備から始まります。沿岸の堤防工事を早急に進めた後は、農作物の安定生産や農作業の効率化に向け、ほ場の大区画化等の基盤整備を行う必要があります。このほかに排水施設などの農業用施設の機能回復も求められており、これらの実現に向けて、各県の農業土木技術職員の支援が要請されました。

その名も

「福耕（ふくこう）支援隊」

これは「福」島を「耕」せる状態に戻す「支援」をする意味で、山梨県のほか、北は北海道から南は沖縄県まで、数多くの技術者が応援にかけつけました。また、山梨県では福島県のほかに宮城県にも職員を派遣しています。



福耕支援隊